

file 13

社会活動

藤江京子さん

熊本婦人ボランティアの会会長
熊本県つばさの会
ボランティアアドバイザー相談員
民生・児童委員

PROFILE

1941年生まれ。夫と娘家族と3世代同居。



何でも一歩前に出て、やってみることが大事

熊本婦人ボランティアの会
TEL : 096-288-2748
(熊本市ボランティアセンター内)

—今の活動を始められたきっかけは何ですか。

藤江 20代後半からPTA活動をしていましたが、大きなきっかけは、ボランティア講座の受講です。講座では、社会福祉施設奉仕コースを修了し、翌年には、仲間と共に熊本婦人ボランティアの会を設立しました。そして、一つの転機が、45歳で参加した第1

回婦人のつばさ海外研修です。研修参加を考え、義母に相談すると、「チャンスは何でも生かしなさい」と背中を押してくれました。それで夫にも堂々と「行ってくるよ」と言えました。研修先のニューヨークでは、「熊本の県議会の議員に女性が一人しかいないのはなぜだ。そのことをどう考えているのか」と尋ねられ、とてもショッ



取材担当
熊本学園大学2年
安樂美紀

クを受けました。アメリカの女性の社会進出との違いを痛感しました。PTA活動や海外研修、参加したボランティア講座などから「何でも一歩前に出て、やってみることが大事」だと思えるようになりました。また、いろんな活動をする人たちと出会う中で、学ぶ大切さ、人とのつながりで、多くの人を巻き込んで活動できるということを経験しました。
—最近気になっていることは何でしょうか。

藤江 2014年9月に東京電力福島第一原子力発電所の事故の被災地を訪ねました。その時にとても衝撃を受けました。みんなそれぞれの地域に住んでいる。その地域にもっと目を向ける必要があるのではないかと考えています。地域に住んでいる立場の異なるさまざまな人たちが「お互い様」という絆を大事に暮らしてほしい。そのような地域をつくるためにも、お子さんを持つお母さんや若い人た

ちに、ぜひ選挙に行ってほしいと思っています。
—女子学生にメッセージをお願いします。
藤江 社会に出ることへの不安はあるでしょうが、胸を張って堂々と自分をアピールしてください。失敗してもめげないで、「明日は大丈夫」という前向きな気持ちが大事です。まずは何であろうと与えられた役目にチャレンジしてください。

学ぶこと、仲間をつくって交流し、ともに行動することが大切。仲間がいるからできることがあります。



2012年	2010年	2008年	2000年	1986年	1974年	1973年	1961年	1960年
熊本市西区振興ビジョン策定懇話会委員	熊本市つばさの会会長に	熊本市地域福祉活動計画推進委員	熊本市防犯会議委員。熊本市国民保護協議会委員。熊本市地域福祉活動計画推進委員	NPO法人ワークシヨップ「いぶに」に参加	第1回婦人のつばさ海外研修に参加	熊本市ボランティアの会の会設立	熊本市ボランティア講座修了	第1期熊本市ボランティア講座修了
							結婚	高校卒業後熊本放送に就職

輝きの軌跡
藤江京子さんのキャリアストーリー